

# 令和5年第4回山田町議会定例会

## 一般質問通告の要旨

一般質問は、12月12日(火)に順位1～5を、13日(水)に順位6～9を行う予定です。

順位	質問者	質問事項	質問要旨
1	5番 昆 清	1 陸上養殖について	アジア各国では魚類養殖に力を入れており、令和3年の養殖生産量の上位は中国であり、日本は世界12位とのことである。アジア各国がこれを商機と捉え、政府主導で養殖ビジネスを模索しており、各国が大学の協力のもとで研究開発に取り組み、販売につなげているとのことである。本町も大学と連携し、よそにはない陸上養殖に取り組む考えはないか伺う。
		2 森林環境譲与税の用途について	国が令和元年度から自治体に配分している森林環境譲与税の令和5年度の用途について伺う。
		3 介護保険料について	(1) 報道によると、来年度の介護保険制度の改正で高齢者の保険料の見直しが検討されているとのことであり、年間の所得が410万円以上の方を対象に、現在の基準額の1.7倍を、今後1.8倍～2.6倍に引き上げるとのことであるが、これにより影響を受ける方が何人いるのか伺う。 (次のページへ)

順位	質問者	質問事項	質問要旨
1	5番 昆清	3 介護保険料について (つづき)	(2) この見直しを受けて、今後の65歳以上の介護保険料の所得区分が何段階になるのか伺う。また、この改定の狙いは、低所得者の負担の軽減、保険料上昇の抑制とのことであるが、本町では何人が対象となるのか伺う。
		4 消防指令本部の共同化について	10月31日の読売新聞の報道によると、各地の消防本部の通信指令業務を共同運用する動きが進んでいるとのことであるが、宮古地区広域行政組合の状況について伺う。
		5 漁業者の収入減対策について	現在ホタテ生産者は、ホタテ貝毒の影響とホタテ貝の死滅により大変な状況であると聞くが、このことを当局は把握しているのか伺う。また福島第一原発のALPS処理水の影響もあり、さらに収入が減っているとのことであるが、本町の支援策について伺う。
		6 鳥獣被害対策について	(1) ニホンジカをはじめとする野生鳥獣による農林産物への被害が拡大しており、特にも、原木シイタケに使われる植林した広葉樹の苗木などの食害が顕著であり、生産者は強い不安を抱いている。本町の対策について伺う。 (2) 数年前からイノシシの目撃情報が相次いでおり、被害の拡大が一層懸念される状況となっている。本町の対策について伺う。 (3) 狩猟従事者は、本町で今現在何人おり、育成や捕獲技術の開発普及について、どのような支援をしているのか伺う。

順位	質問者	質問事項	質問要旨
2	8番 佐々木 慶信	1 部活動の地域移行について	<p>学校部活動は教職員の献身的な勤務の下で成り立ってきたが、競技経験のない教職員が指導せざるを得ない点や、休日も含めた指導や大会への引率、運営への参画が求められる点など、教員によって大きな業務負担となっている実態があるとともに、生徒にとっても望ましい指導を受けられない場合が生じている。教育の働き方改革、ワークライフバランスの観点からも部活動の地域移行が急がれると考えるが、そこで伺う。</p> <p>(1) 学校現場は地域移行に対してどのような意向か。</p> <p>(2) 現在の取組状況はどのくらい進んでいるか。</p> <p>(3) 地域移行を具体化するためのスケジュールを検討しているか。</p>
		2 山田中部活動数の見直しについて	<p>山田中学校の生徒数は今後減少傾向にある。今年度の生徒数は298名であるが、令和16年度には207名と30%減少の見込みである。校長、副校長の1校の在職期間は2～3年ぐらいである。よって今後の部活動の再編成については、教育委員会が中心となって、有識者から意見を聞きながら、進めてほしいと思う。そこで伺う。</p> <p>(1) 現在の部活動数と加入率はどのぐらいか。</p> <p>(2) 今後の部活動の再編成に向けての計画について伺う。</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
2	8番 佐々木 慶信	3 不登校対策 について	<p>令和4年度全国の小中学校の不登校児童生徒数が299,048人で10年連続過去最多を更新した。この2年間では10万人増である。そしてその中で学校や相談機関等から支援を受けていない子供は114,217人で不登校全体の約4割となっている。</p> <p>全国的な状況を踏まえ、国は永岡文部科学大臣の下、誰一人取り残さない学びの保障に向けた不登校対策COCOLOプランの取りまとめを行い、本年3月31日付で全国の自治体へ通知を発行した。その中で永岡大臣のメッセージとして大きく取り上げられているのは、3点あるが、ここでは1つ目について取り上げる。</p> <p>「不登校の児童生徒に全ての学びの場を確保し、学びたいと思ったときに学べる環境を整える。」と述べている。</p> <p>また、2017年に不登校の児童生徒を支援するため、教育機会確保法が施行されたことにより、学校復帰を大前提としていた従来の不登校対策が大きく転換されたと考えている。学校外での多様で適切な学習活動の重要性が指摘され、不登校児童生徒の無理な通学は、かえって状況を悪化させる懸念があるため、子供たちの休養の必要性が認められるようになった。さらに、国や自治体が子供の状況を継続的に把握し、子供とその保護者には、学校外施設など様々な情報を提供することが勧められている。そこで伺う。</p> <p>(1) 現在の小中学生の不登校者数は。</p> <p>(2) 学校や相談機関等から支援を受けていない子供の人数は。</p> <p style="text-align: right;">(次のページへ)</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
2	8番 佐々木 慶信	3 不登校対策について (つづき)	<p>(3) 永岡大臣のメッセージ「不登校の児童生徒が学びたいと思ったときに学べる環境」はあるか。例えばタブレットを活用したオンラインでの不登校児童生徒との交流は本町では実施しているか。</p> <p>(4) 教育機会確保法には、教室や家庭以外にも多様な学びの場という記述があり、例として教育支援センターやフリースクール、校内教育支援センターが挙げられているが、本町の現状と教育機会確保法を把握したうえでのこれからの取組予定を伺う。</p>
		4 県立山田高等学校の支援について	<p>山田中学校3学年の生徒数は令和6年3月105人、5年後92人、そして10年後(令和16年3月)82人となる(宮古地区3学年生徒数R6.3月552人R16.3月407人)。このような生徒減少が進む中、地域がどのように地元の高等学校と関りをもつかが問われている。県内各地の例を挙げると、葛巻高校「山村留学」、沼宮内高校「地域みらい留学」、大槌高校「はま留学」などがある。これからも山田高校を存続させていくためには町としても強力な支援策を打ち出していかねばならないと考える。</p> <p>山田高校は、ボート部のインターハイ出場や海の運動会そして山田町について深く学ぶふるさと探究活動などいろいろなことに意欲的に取り組んでいる活気ある学校で地域の誇りである。ぜひとも地元には必要な学校と考える。</p> <p>そこで、町のこれまでの支援と今後の支援計画を伺う。</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
2	8番 佐々木 慶信	5 教育予算の 拡充について	<p>これからの本町の教育行政の取り組みとして、「部活動の地域移行」については、部活動指導員の確保、「不登校対策」については、学校支援員の増員、教育支援センターのさらなる充実など、予算を伴うソフト面での対応が必要になると考えるが町の見解を伺う。</p>
3	7番 山崎 忠弘	1 山田町民の ための医師を 養成する奨学 金制度の創設 について	<p>全国的に医師不足が叫ばれて久しい。特にも、地域医療にとっては大きな問題である。当町にとっても、妊娠・出産・子育てにやさしいまちを目指すためには、産婦人科医をはじめとした医師の充実が、どうしても必要であるが、有効な対策を見出せないのが現状である。医師不足解消のためには、待っているだけではなく、自分たちの町の力で医師を育て、その医師が山田町に戻って町民のための医療に携るという制度が必要と考える。</p> <p>そこで、次の3点について町長に伺う。</p> <p>(1) 医師不足の要因をどのようにとらえているか。</p> <p>(2) 医師不足を解消するために実施している対策及び課題について</p> <p>(3) 山田町民のための医師を養成する奨学金制度をつくるべきである。</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
3	7番 山崎 忠弘	2 防災士の計画的育成について	<p>東日本大震災から12年が経ち、防潮堤や道路などのハード整備が進み、被災地には日常が戻った感があるが、政府の中央防災会議では、日本海溝・千島海溝沿いで巨大地震が発生した場合、津波の危険が大きいとして、当町を含む本県沿岸の12市町村を防災対策の特別強化地域に指定した。また全国的に相次ぐ洪水や土砂災害などの大規模な自然災害により、防災に対する関心は高まっている。町の総合防災ハザードマップを見ると、津波や地震による災害のおそれのある区域とともに、台風による大雨や局所的大雨、集中豪雨等による洪水、山やがけ地での大雨などによる土砂災害のおそれのある区域が、いかに多いかが確認できる。自然災害から町民の生命、財産を守り、安全・安心を確保するためには、総合的な防災体制の構築とともに、地域防災力の強化が必要と考える。</p> <p>そこで、次の2点について町長に伺う。</p> <p>(1) 地域防災力の強化のため、現在、行っている対策とその課題について</p> <p>(2) 地域防災力を強化するための一つの対策として、自主防災組織のリーダーとなる人や役場職員などを、計画的に防災士として養成していくべきである。</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
3	7番 山崎 忠弘	3 産直ひろば「ふれあいパーク山田」の今後について	<p>旧・道の駅「やまだ」である産直ひろば「ふれあいパーク山田」は、平成11年5月に山田町林産物展示販売施設、愛称を「ふれあいパーク山田」として開業した。過去15年間の年平均の買い物客数は約16万人、売上額は約2億6千万円であり、山田町の観光の一大拠点として位置付けられ、交流人口の増加に大きく寄与してきた。今年7月には、新たな道の駅として「おいすた」が開業したことに伴い、旧・道の駅「やまだ」は道の駅の指定を解除された。今年度、産直ひろば「ふれあいパーク山田」は改築される計画となっているが、今後も、新・道の駅「おいすた」と連携するとともにそれぞれの特色を生かし差別化を図りながら、交流人口の増加につながる施設として、大きな役割が期待される。</p> <p>そこで、次の5点について、町長に伺う。</p> <p>(1) 産直ひろば「ふれあいパーク山田」を、道の駅として再登録するため、関係機関と協議を進めていくとのことだが、進捗状況はどのようになっているか。</p> <p>(2) 新・道の駅「おいすた」が開業したことにより、産直ひろば「ふれあいパーク山田」にどのような影響があったか。</p> <p>(3) 町長は、施政方針で、産直ひろば「ふれあいパーク山田」と新・道の駅「おいすた」の「二つの施設がともに相乗効果を発揮できる施設となるよう取り組んでまいります。」と述べているが、現状をどのようにとらえているか。</p> <p style="text-align: right;">(次のページへ)</p>



順位	質問者	質問事項	質問要旨
3	7番 山崎 忠弘	3 産直ひろば「ふれあいパーク山田」の今後について(つづき)	(4) 産直ひろば「ふれあいパーク山田」に、今年度、展望テラスと子育て応援施設を設置するなど、全面的な改修工事を行うとのことであるが、この狙いはなにか。 (5) 将来的に産直ひろばが、「おいすた」とともに道の駅となったとき、相乗効果を発揮するためには、2つの道の駅の連携とともにそれぞれの特色を生かし差別化をこれまで以上に図る必要があると考えるが、2つの道の駅の役割・あり方をどのように考えているか。
4	6番 豊間根 信	1 豊間根小学校のトイレ設備の整備について	豊間根小学校のトイレ管理については、担当部署においても今日まで様々な対応をされて来たことに感謝する次第です。一方で、トイレの使用方法等に一貫性が取れず戸惑いを覚えている状況もあるようです。公共施設の学校として、人と環境にやさしいトイレ・浄化槽・排水路等の全面的な工事をすべきと考えますが当局の見解を問う。
		2 豊間根地区の下水道等の整備計画展望について	豊間根地区の下水道整備については当地域が広大な面積であることから、莫大な財源を必要とするとの事でなかなか実現されてこなかったという経緯があります。今後の山田北インターフル化に伴い、経済活動・交流人口拡大等による加速度的な町の発展のためには、しっかりとした理念をもった環境整備が必要不可欠と思います。当局の見解を問う。

順位	質問者	質問事項	質問要旨
4	6番 豊間根 信	3 やまだ斎苑 前交差点への 注意喚起対応 について	<p>前回の議会において、同僚議員から同様の質問が出ていたが、先日、やまだ斎苑から出て右折した車が対向車線側に進入し、その後、正規の車線に入りなおすという事例があり、一歩間違えれば大事故につながるころでした。当交差点への注意喚起表示について早急に対応すべきと考えるが当局の見解を問う。</p>
5	13番 山崎 泰昌	1 町内インフラの維持、整備について	<p>6月定例会でも質問し、回答は受けたが新たな疑問が生じたので質問する。</p> <p>(1) 大浦第一団地付近の法面保護工事は本年度着工を目指すと回答があったが、進捗状況は。</p> <p>(2) 通称「どどっ鼻」から船越魚市場に至る道路については、全体的に損傷や老朽化が進んでいることから国の交付金事業を活用しながら整備を進めたいとの回答があった。大規模な工事になると推測されるが、検討結果は。</p> <p>(3) この道路に接続する早川の道路は、損傷はもとより、側溝が埋もれたままになっている。整備計画はどのようになっているのか。高台道路に接続する道路でもあるので早期の整備を行うべきではないか。</p> <p>(4) 海蔵寺と前須賀公園の間の道路は劣化や損傷が著しい。また、降雨時には水がたまり通行の妨げになっている。以前から主張しているが、国県の復旧事業が終了した現在、町道整備も並行して行わなければ完全復旧と呼べず、利便性の向上が図られないのではないかと。町の見解と整備方針は。</p> <p style="text-align: right;">(次のページへ)</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
5	13番 山崎 泰昌	<p>1 町内インフラの維持、整備について (つづき)</p> <p>2 町内経済の活性化について</p>	<p>(5) 以前から質問してきたが、船越の通称「松林」の道路は水はけが悪く、住民は困っている。また、前須賀防潮堤下の道路も同じ状況が見受けられる。当局では認識しているはずだが、対応策は。</p> <p>(6) 湾台の道路と新しくできた道路の接続部分で幅員に差があり、車の通行時に片方が停まっている状況があり、安全面からも不安を感じるし、不便を感じている。改善すべきではないか。</p> <p>(7) 田の浜低地部の道路において、未舗装の道路があるが、放置している理由は。また、整備の予定は。</p> <p>新・道の駅「おいすた」が完成し、予想以上に多くの人々が当町を訪れている。この良い流れを止めないようにする工夫が必要という観点から質問する。</p> <p>(1) 町内に立ち寄ってもらうためには、いくつかの目玉となる場所、目的地がなければならないと考えている。当町が県下で一番最初に大々的にPRしたかき小屋をもっと活用すべきではないか。</p> <p>(2) 旧前須賀公園は今後どのように整備していくのか。以前にも提言したが前須賀防潮堤は見晴らしが良く、新しい観光名所にもなり得るのではないかと考えている。町の見解は。</p> <p style="text-align: right;">(次のページへ)</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
5	13番 山崎 泰昌	2 町内経済の 活性化について (つづき)	<p>(3) 前回の議会での同僚議員への答弁において、高校生からの意見として、スケートパークの整備や中央公園のバスケットゴールの増設などが提案されたであった。これは以前議会でも話し合われたことであるが、町内活性化の一策でもあると考える。このような事案が実現化されれば、若い世代が町自体に興味を持ち、将来町内での生活を望むようになるのではないか。人口減少を防ぎ、ひいては経済活性化にもつながると考えるが、町の見解は。</p> <p>(4) 当町の基幹産業である水産業が、海水温の上昇により水揚げが減少し、団体、企業、そして個人ともに、経済的に苦しんでいるように見受けられる。現在、水産従事者は水揚げ収入に多くを頼っている現状を、別の水産業でも収入を得ようと努力している。各種利子補給や、養殖棚の保険料負担、アワビの放流など、今までの町の施策は評価しているが、この取組が軌道に乗るまでの支援策も必要ではないかと考えるが、町の見解は。</p>
6	4番 中屋 佳信	1 境田地区伝 作周辺の安全 確保と環境改 善について	<p>境田地区伝作周辺は、山田町B&amp;G海洋センター艇庫・町立艇庫・県立山田高校艇庫を利用する児童生徒等のほか、週末になると、町内外からの釣り客やマリンスポーツ愛好者等が訪れていることから、周辺を利用する方の安全確保と環境改善の観点から伺う。</p> <p>(次のページへ)</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
6	4番 中屋 佳信	1 境田地区伝作周辺の安全確保と環境改善について (つづき)	<p>(1) 震災前は町道伝作線から公衆用道路につながり、造船所裏から町立艇庫裏までの山際に道路があったが、災害復旧後は町道終点のラバーポール設置により道路は寸断され、公衆用道路は雑草地となっている。造船所裏には、震災前から津波避難路が整備されているが、現状では緊急避難時に問題が生じるものと危惧している。町道と公衆用道路の接続及び公衆用道路の整備が必要と考えるが、町の所見を伺う。</p> <p>(2) 伝作裏山の津波避難路への案内表示は、海洋センター艇庫の壁に表示されているだけで、海岸側からは全く分からない状況である。船揚げ場付近に誰でも分かるように、大きく案内表示等が必要と思うが、町の所見を伺う。</p> <p>(3) 町道の山側は、カキ殻の一時置き場となっているが、町道終点付近は、カキ殻が町道まではみ出しているほか、廃船も放置されており、今後の不法投棄も危惧される状況にある。何らかの対策が必要であると思うが、町の所見を伺う。</p> <p>(4) 伝作船揚げ場は、漁業者や船舶修理業者、艇庫を利用する児童生徒等が利用しているが、最近では、ボートトレーラーをけん引し、フィッシングボートや水上バイク等をエントリーさせる、町内外からの利用者が増えており、利用者間のトラブルや、事故が危惧されている。使用エリアの区分けや、駐車スペースの確保、船揚げ場使用のルールや注意を呼びかける看板や表示等の対策が必要と思うが、町の所見は。</p> <p style="text-align: right;">(次のページへ)</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
6	4番 中屋 佳信	<p>1 境田地区伝作周辺の安全確保と環境改善について(つづき)</p> <p>2 中央公民館自主事業の再開及び文化芸術活動について</p>	<p>(5) 伝作地区には、3つの艇庫があるにもかかわらず、案内看板等が見受けられない。利用者への案内のほか、町の特色ある施設をPRする意味でも国道脇に案内看板が必要と思うが、町の所見を伺う。</p> <p>東日本大震災後、様々な文化芸術団体や芸能人等が、被災地に駆けつけて復興支援活動を行い、本町においても様々なコンサート等が開催され、町民が復興に向けて前向きに生きていく原動力となった。震災から12年が経過し、そのような支援活動も減少してきている中、震災前後まで開催されていた「中央公民館自主事業」を再開する必要があるのではと感じている。また、先頃開催された町民芸術祭において、出品・参加者の多彩な取組を見聞きし、より多くの町民が参加、鑑賞していただきたいという観点から伺う。</p> <p>(1) 公民館自主事業は、いつまで行われ、どのような事業(出演者)が開催されたか。</p> <p>(2) 自主事業の予算規模、及び事業を止めた理由は何か。</p> <p>(3) 町民が身近でコンサート等を楽しみ、明るく希望を持って前進していけるよう、公民館自主事業を再開し、今後も継続的に実施するべきと考えるが、町の所見は。</p> <p>(4) 町民芸術祭ステージ部門は、より多くの町民に鑑賞していただけるよう、前売券と当日券の価格差を廃止したほうがよいと思うが、町の所見は。</p> <p>(次のページへ)</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
6	4番 中屋 佳信	2 中央公民館 自主事業の再開及び文化芸術活動について (つづき)	(5) 文化芸術活動について、様々な団体が特色をもって活動しているが、若い世代の参加が少ないと感じる。若い世代の参加や、より多くの町民の参加を促すための施策について、町の所見を伺う。
		3 山田小学校 プール（町民プール）の有効活用について	山田小学校プール建設工事が始まった。隣接する山田中学校と共有するとともに、町民にも一般開放するとのことであり、町民プールとして有効活用が期待されることから、町の所見を伺う。 (1) プールの運営、維持管理について、所管課はどこか。 (2) 町民の健康づくりの施設としても位置づけ、活用していくとのことであるが、一般開放の期間や時間、利用料の設定等について、町の現在の考えは。 (3) 施設老朽化により廃止されたB&G海洋センター・プールでは、水泳教室やアクアエクササイズ教室を開催していた。町民の健康づくりやプールの有効活用の観点からも、同様の事業開催を期待するところであるが、町の所見は。
7	9番 関 清貴	1 長崎地区等の公園の施設整備の充実について	(1) 東日本大震災によって応急仮設住宅が建設された長崎地区の公園が復旧し、親子連れ、子ども等が楽しく利用しているが、この現状を踏まえ、遊具等を充実させる考えはあるか。 (2) 山田中央公園を利用する子どもの保護、安全安心を考え、防犯カメラを設置する考えはないか。

順位	質問者	質問事項	質問要旨
7	9番 関 清貴	2 空き家状況について	町内の空き家調査を実施していると思うが、調査を実施した時点と最新の調査時点での空き家の増減数と主な理由を伺う。また、今後も「山田町空き家バンク実施要綱」をはじめとする各種施策において、移住定住も人口減少対策として大きなテーマと考える。本町の移住ツアーなどを体験した人たちの意見、要望等フォローアップは。
		3 水道未給水地区について	大沢地区の上水道既給水地区から、山谷地区の上水道未給水地区までの距離はどのくらいか。また、山谷地区まで上水道を敷設する場合、事業費はどのくらいかかるのか。敷設できない条件が規程等に明記されていれば教えていただきたい。
		4 水産業について	ナマコ、アワビの放流事業については、磯根資源を守り、また、漁業所得を向上させる大切な事業として認識している。そこで、令和2年度から直近の漁獲量の推移、混獲調査の結果と今後の放流事業について伺う。
		5 農業について	本町における園芸作物で奨励している作物は何か。また、どのような営農指導を行っているのか。今後、本町に適した作物として考えている品目があるのか。
		6 総合運動公園第2グラウンドについて	山谷総合運動公園の第2グラウンドは、ウォーミングアップをする場所として考えられないか。また、今後の活用方法について伺う。
		7 山田中学校の校庭の整備について	山田中学校の校庭は最終的にどの位置になるのか。クラブ活動や体育の授業を考えた校庭にするのか。



順位	質問者	質問事項	質問要旨
8	1 番 木村 洋子	1 豊間根小学校と公共施設のトイレの浄化槽化について	<p>公共下水道が敷設されている町中心部から離れている地域においては、まだ、くみ取式のトイレが多くみられるのが現状である。豊間根小学校においても簡易式水洗のトイレとはなっているが、くみ取式であり、臭気の問題や衛生上の観点からも浄化槽にするべきではないか。</p> <p>また、多くの住民が利用する集会所等の公共施設においても、コミュニティー形成の場として利便性の面や、避難所としての役割などから浄化槽化を進めていくべきではないか。町としての考えを伺う。</p>
		2 災害公営住宅の空室について	<p>(1) 災害公営住宅の空室が増えているように見受けられるが、現状はどうなのか。</p> <p>(2) 入居者の中には高齢のため、ひとり暮らしは困難であると子どもの所へ引っ越す予定の方もいる。空室を出さないようにする対策はどのようなようになっているか。</p> <p>(3) 若い人も入居しやすいように入居条件の緩和などをして、空室が無くなるようにしてほしいが、町の考えを伺う。</p>
		3 産後ケアについて	<p>女性のライフステージに応じた健康支援の在り方が注目されている。とりわけ、産後は心身の体調変化が大きいことから、産後ケアが重要であると考え。現状はどのようなになっているかを伺う。</p>
		4 物価高騰について	<p>物価高騰により、町民の暮らしと事業者の経営は、深刻な打撃を受けている。中小企業者は3年に及ぶ新型コロナウイルス感染症の流行や物価高騰の影響により、経営環境が非常に厳しい状況が続いている。暮らしとなりわいを守り、倒産、廃業しないようさらなる支援が必要と考えるが、町の認識と対応を伺う。</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
8	1番 木村 洋子	5 医師および医療関係者の育成について	<p>県内でも、とりわけ当沿岸地域においては、医師不足は顕著である。地域医療を守る会及び山田病院、町の共催で行われた県立山田病院、阿部薫院長の講演によると、医師だけでなくレントゲン技師や薬剤師等の医療関係者も不足しているとのことであった。</p> <p>県内の自治体では、医学生対応の奨学金制度を設立し、効果が出ている所もある。当町としても、医師や医療関係者に対しての奨学金制度を設立し、育成に力を入れるべきではないか。</p>
9	2番 菊地 光明	1 山田北インターについて	<p>山田北インターについては、都度質問してきたが、関係者のご協力の下、順調に進んでいると思う。これも町民の思いが伝わったものと思い、町長には感謝申し上げます。そこで伺う。完成年月日について、年度ごとに詳しく述べよ。</p>
		2 財産について	<p>(1) 町が管理する、普通財産と行政財産の違いを伺う。</p> <p>(2) その上で、町の行政財産は何か所あって、その面積はどのくらいあるのか。</p> <p>(3) 行政財産は、必要性があり取得したものと思うが、使用目的にあった使われ方をしているのか、目的外の使用があった場合、その箇所と理由について詳しく述べよ。</p>
		3 事業振興について	<p>(1) 大沢終末処理場前から漁港関連道までについて、誰が管理しているのか。現在の状態を町では把握しているのか、詳しく述べよ。</p> <p>(2) 町内に残っている旧防潮堤は、誰の物で今後の処理はどうするのか、詳しく述べよ。</p> <p style="text-align: right;">(次のページへ)</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
9	2番 菊地 光明	3 事業振興について (つづき)	<p>(3) 山谷総合運動公園付近の水利権は誰のものであるのか。誰が申請して、誰が許可するのか、許可期間を含め、詳しく述べよ。</p> <p>(4) 傾斜堤について、危険であることは先の議会において共通認識となったと思う。その上で、町は今後どう対処していくのか、詳しく述べよ。</p> <p>(5) 町内に集会施設は何か所あり、そのうちトイレが洋式化されていない施設は何か所か。その施設は今後どうするのか、詳しく述べよ。</p> <p>(6) 神倉川においては、これまで防潮堤の海側の質問をしてきたが、今回は別の面から質問をする。神倉川の所有者は誰で、どこで管理しているのか。川周辺は、掃除もされず、中心付近は雑草が繁茂し、護岸の高さも見えないほど手つかずの状態であり、景観上も見苦しい。このような状態を続けるのか、詳しく述べよ。</p> <p>(7) 大沢漁港関連道は誰が管理しているのか。木や枝が垂れ下がっていたり、道路わきのり面の土砂が崩れているなど、危険な状態であり、景観上も見苦しい。今後、改修の計画があるのか詳しく述べよ。</p> <p style="text-align: right;">(次のページへ)</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
9	2番 菊地 光明	3 事業振興について (つづき)	(8) 町長は、先の議会において、豊間根地区は下水道整備ではなく、合併処理浄化槽での汚水処理を進めていく。と答弁しているが、自分が考えるに処理水を全部地下浸透するには無理があると思う。地下浸透するには山田町土地改良区をはじめ、関係各所の同意が必要と考えるが、そもそも同意が必要なのか。あるいは不要なのか伺う。私は地下浸透よりも側溝を整備して放流する方法が良いと考えるが、その場合、全体的な計画をつくる必要があると考えるが、当局の考えを詳しく述べよ。
		4 環境整備について	(1) 漁業活動の一環として、漁業者の方々は、流木などを漁港にあげてくださっている。その後の処理について、誰が行うのか。また、遊歩道や陸にあがったごみなどは誰が処理するのか、詳しく示せ。 (2) 漁具干場は、誰の物で草刈り等の環境整備は誰がするのか。そのほか、舗装干場の隣に未舗装の干場があるが、箇所数と面積など詳しく述べよ。
		5 追悼式について	来年度は、震災から14年になる。被災した家族の方々は、13回忌を終えたと思うが、今年度の追悼式をどのように考えているのか詳しく示せ。

順位	質問者	質問事項	質問要旨
9	2番 菊地 光明	6 漁業について	<p>今年11月末時点で、秋サケ漁の不振が大変心配されている。漁業を主な産業とする本町では大変であると思う。そこで伺う。本町における両市場と両組合の今年度の水揚金額はどのくらいで、各経営にどのような影響があると考えているか、詳しく述べよ。</p> <p>その上で、両組合に影響があると考えている場合、どのような指導を考えているのか、詳しく述べよ。</p>
		7 国土調査について	<p>(1) 国土調査について、現在の進捗状況はどうなっているのか、地区ごとに詳しく示せ。現在実施中の豊間根地区については、細部の地区ごとに詳しく示せ。</p> <p>(2) 現在のままで行くと、町全域が完了するまであと何年かかるのか。終了予定年度についても詳しく示せ。</p>
		8 教育行政について	<p>(1) このことについて、最近の新聞やテレビ報道によると、全国的にインフルエンザの流行が報道されているが、本町の現状はどうか。学校閉鎖などを含め詳しく述べよ。</p> <p>(2) 現在観光協会が指定管理している鯨と海の科学館について、今年度末で指定期間が終了するが、その後について町はどのように考えているのか、詳しく示せ。</p>